

## アジア平和交流事業「北東アジア子ども交流キャンプ」

アジアには様々な問題がありますが、平和なアジアの未来に向けてアジアの子どもたちが集まり自然体験活動や遊びを通じて交流・友情を深める活動に取り組んでいます。当団体理事長が上味見地区で実施した最初の活動がこの事業「北東アジア子ども交流キャンプ」(2001年10月)の1回目です。上味見の様々なグループ・団体の理解と協力を得て実施されたこの事業は、Kids'AU Campと名前を変えその後も毎年日本・モンゴル・韓国で続けられています。また、福井では日本と中国の二国間子ども交流キャンプを3回実施しています。



## 災害支援活動「福福こどもの笑顔プロジェクト」



2004年7月18日、集中的な豪雨「福井豪雨」が発生し、福井市、旧美山町などで堤防決壊、鉄橋や道路の破壊・陥没、床下・床上浸水などの多くの被害が出ました。災害ボランティア、泥かき活動に取り組みました。それが大きな契機となり半年後の2005年2月に当団体は上味見地区に事務所を置き本格的に自然体験活動に取り組むはじめました。

2004年7月18日、集中的な豪雨「福井豪雨」が発生し、福井市、旧美山町などでそれから6年後の2011年3月11日、未曾有の東日本大震災が発生しました。当団体でも義援金協力、全国の自然学校のネットワークが支援した宮城県北部での災害ボランティア活動に取り組みました。

そして、福島原発事故の影響で屋外で十分に活動ができない福島の子どもたちをキャンプで1週間程度受け入れる「福福こどもの笑顔プロジェクト」を2011年夏・冬、2012年夏・冬に実施しました。今後も、春・夏・冬休みに継続して実施する予定です。



## 人材育成事業「自然体験活動指導者養成講座」「MFA安全管理講座」



自然体験活動を担う指導者や材を養成するために、指導者養成講座を上味見地区や福井県内で、また関西で開催しています。民間の自然体験活動推進協議会(CONE)と独立行政法人青少年教育振興機構が協力し、平成25年度から民間と国が一つとなった新たな自然体験活動指導者資格ができる予定ですが、この動きと連携したカリキュラムによる講座内容となります。また、上味見地区のフィールドや学びをカリキュラムに取り入れています。

指導者が安全意識を高め知識や技術を得られるような講座・研修機会を提供しています。その一つにアメリカをはじめ世界で広がっている救命救護法のカリキュラム(MFA)による講座を行っています。

## 地域活性化・貢献事業

過疎化が進んだ地域で、廃校を拠点に私たち自然学校が日常的に活動を行うことで2005年以降は毎年1,000人を超える参加者が上味見地区に足を運ぶまでになっています。このことが一つの地域活性化プロジェクトであると言えます。更に、地域の諸団体と連携し、伊自良祭りをはじめ地域のお祭りや行事には団体、上味見青年団らが関わっています。

私たちは、上味見地区において地域とNPO・自然学校が連携協働し、次のようなことに貢献していきたいと考えています。

- 人と自然と文化と地域のつながりを学ぶ場・地域として発展していくこと
- 上味見が子や孫の代まで存続し自然と文化が受け継がれていくこと
- 自然学校の新たな役割を上味見から全国に発信することで新しい考えや知恵・人・風が入り上味見を潤す様々な活動が生まれていくこと。

### 出版物紹介 『過疎地に飛び込んだNPOの軌跡』

当団体が上味見地区に飛び込んで活動してきたこの12年間の経緯をまとめたブックレット(小冊子)を発行しました。自然体験活動、都市と農村の交流活動、過疎地での活動、廃校の活用などに取り組む関係者、これから始めようとする人たちにぜひ読んでいただけたらと思います。

ご希望の方は、ブックレット代525円(送料込で600円)を郵便振替にて送金ください。通信欄にブックレット希望と記入し、ご依頼人欄に住所・お名前・電話番号等をご記入下さい。

【加入者名:自然体験共学センター 〒振替番号:00740-1-74457】

